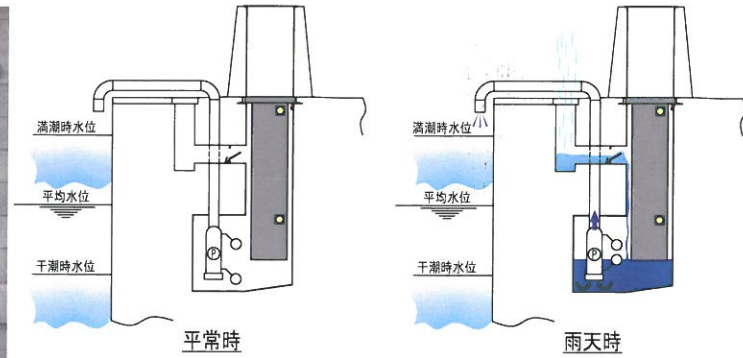


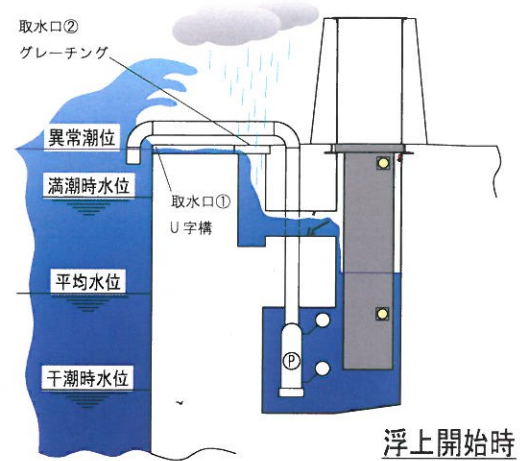
## ■作動イメージ



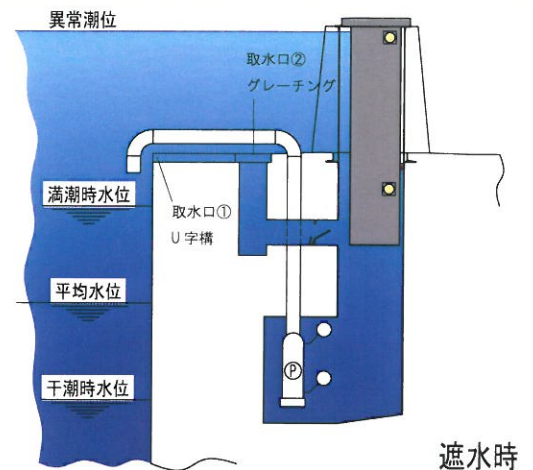
## ■施工断面イメージ



平常水位では遮水扉はピット内に格納されているので景観を損なわず、往来を妨げない。  
扉本体は常時地上に露出していないので損傷を受けない。



高潮や津波、集中豪雨などの突発的で予測不能な水位上昇に伴い、警報発報と共に遮水扉が浮上開始。



取水口①、②からの取水により、地面が冠水する前に遮水扉が完全浮上し、待機状態に入る。

浮力昇降式遮水装置”シグゲート”の実用化に向けて、テストプラントにおける水害対策用の動作検証をフルスケールで繰り返し行なっています。

様々なデータの収集・蓄積を、高波・津波・都市型水害対策用それぞれに適した、無人で自動的に作動する”遮水扉”の開発にフィードバックさせています。